

トラスト通信

令和7年第2号

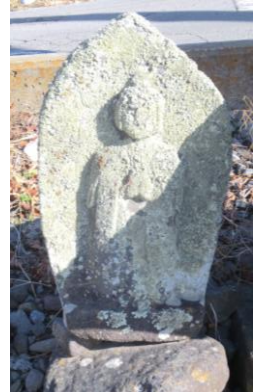
海野宿成立から400年を支え続けるのは！

「おい その石 大事だよ！ 元へ戻しておけ！」 理事長 宮下知茂

南屋敷裏で「正行堂」について ある方とお話をしている時に私の持っている石を見て 私を注意した言葉です。

正行堂は、資料が少なく不明のことが多い。「東部町の遺跡と文化財」（五十嵐幹雄著）によれば「海野氏家臣赤石藤次郎が開基という。はじめ南屋敷地籍にあって「正行堂」といった。天文年間（1532～1554）に一度衰頹したが、法誉永讚という僧侶が中興して、正行院青龍山地蔵寺と称した」という。南屋敷裏に層塔や五輪塔の一部が多く集められ小高い山になっていた場所があり、正行堂があったところだと推定されていた。

■南屋敷裏の耕地整理が行われ、屋敷裏近くの一か所から10基の墓石や一石五輪塔・五輪塔の一部等が掘り出された。墓石に刻まれた年号は、正保・元禄・宝永・享保・不明である。（現在 墓石は海野バイパス沿いの中島地籍にコンクリート製舞台に据えられ管理されている。一石五輪塔は持ち去られないために資料館内で展示している。）これらの年号は、海野にも大災害をもたらした寛保2年（1742）の戊の満水以前のものである。この場所にあった石造物・石仏等が大洪水で墓石は地中に埋まり、石仏や石造物は流さればらばらになり地表に残った。その後、農地を耕すのに邪魔になり、一か所に集められ、小高い山になったのであろう。耕地整理で地中から墓石が掘り出されたところが、正行堂があったと考えられる。



■耕地整理にともない正行堂があったところと推定され小高い山をなしていた石仏や石造物は、旧地蔵寺共同墓地（通称 蛇河原）の片隅に祀られている。そこには、舟形墓石地蔵菩薩、層塔の一部、五輪塔の地輪・水輪・火輪・風空輪等が山積みになっている。層塔の一部は大型であり、完全な形に復元できれば、人々が立ち止まって見つめるような立派な層塔になったであろうと思う。また五輪塔の地輪・水輪・火輪・風空輪は、それぞれの形式にわずかながらの違いがみられ、古い時代のものかと推測されるものもみられる。この五輪塔を分析すれば正行堂がいつ頃建てられたかを推定できるかもしれない。以前 山積みされた石仏や石造物にお彼岸やお盆のときにお線香を供え、祈っている方がみられた。

■耕地整理で掘り出された墓石を保存できるようにされた方、墓地に移された石仏や石造物を大事に見守っている方々等、海野宿400年の歴史を支えているのではないのでしょうか。しかし この頃 山積みされた石仏や石造物が減ってきているように感じられることがある。

■同じ墓地にある地蔵廃寺の墓石や石造物もそうであるが、海野宿の歴史を語るものとして保存していくには何らかの手立てを考えなくてははいけない！ 先に言われた言葉は、海野宿の歴史を語るものを大事にしている方のおもいとして受け止めたい。海野には歴史を語るものがたくさんあり、それを現在の生活でどう生かし、どう保存していくかを考える糧にしなければと思う。

■海野宿開宿400年実行委員会報告

開宿 400年

2025年2月2日に第1回目の実行委員会を開催し、改めて事業内容の確認と組織や役割分担を決定しました。実際の活動は「広報」、「イベント企画」、「資料館」の3つの部会が分担して実施していきます。差し当たって急がれるのは「ふれあい祭り開宿400年記念イベント」の内容の詰めであり、第2回と第3回実行委員会でも議論の結果「ほうとうの販売」をボランティアを募集して実施することに決まりました。第2回実行委員会では「住民との話し合い」をテーマに重伝建意識の希薄化や、景観形成住民協定などの課題について議論しました。第3回では資料館展示替えについて、住民宅に死蔵されている古い貴重品を発掘、寄贈してもらう方法などについて議論し、以後は部会にて検討することになりました。また東御市観光課と協議のうえ、観光課の尽力でこの記念事業を今年度の「長野県元気づくり支援金事業」に申請しました。今後も当面は毎月1回のペースで実行委員会を開催する予定です。

第10回 海野宿ひな祭り開催



人力車に乗った花嫁花婿！



丸子修学館高校の生徒さんたちによる雛飾り



たくさんのお客様！

ひな祭り



期間中
毎日夜間は
お資料に
ライトアップ
します

期間中
毎週金曜日と
土曜日は
通りに
灯籠を点灯
します

令和7年3月2日(日)～22日(土)

第10回海野宿ひな祭りが3月2日から22日まで開催されました。今年も宿場通り30軒以上にひな人形を飾っていただきました。

イベントは16日(日)に行いましたが、あいにくの小雨でした。それでも花嫁行列を行う時は雨が上がり、予定通り開催できました。今年、丸子修学館生徒さんたちによる明治から令和までの時代時代を反映したお雛様の飾り方を工夫していただいたり、能登半島災害に対するワークショップの開催等、新しい試みも行われました。

毎週末には通りに灯籠も出して点灯。お雛様の夜間ライトアップなども例年通りに行われました。多くのカメラマンも来場し、テレビラジオ新聞にも取り上げていただきました。小雨交じりでしたが、たくさんのお客様に来ていただき、ひな祭りイベントも盛大に行われました。期間中の地元の皆さんの協力にも感謝申し上げます。



折り紙で作ろうひな人形！



夜間の灯ろう点灯



丸子修学館高校の生徒さんたち

* 海野宿観光ガイドについて

ガイドスタッフ募集中！

●ガイド実績紹介

今年は1月からガイドが入り、1年を通じてガイドの要請が絶えません。海野宿トラストによる観光ガイドも、個人から団体のお客様まで広くガイドの依頼に対応しています。今年は更にガイドの要望は増えて行くものと見込んでいます。



●ガイドスタッフが不足しています！

ご希望の方はガイド研修を随時行います。どうぞトラストまでご連絡ください。

* トラスト会員を募集しています

随 時 募 集 中 ！

NPO法人海野宿トラストは会員の皆様の会費で運営されています。

トラストの趣旨に賛同され、活動を支援していただける皆様の参加をお願い申し上げます。

・会 費	正会員	入会金	3,000円	年会費	6,000円
	賛助会員年間	個人	1口	3,000円	(入会金なし)
		事業者	1口	6,000円	//
		団体	1口	30,000円	//

・会員申し込み先

海野宿トラスト事務所 0268-55-3694 (海野宿資料館内)

Email: info@unnojuku-trust.com

ホームページ 「海野宿トラスト」で検索してください。

* 海野宿資料館・玩具館入館料改訂

東御市より通達

本年4月より、海野宿資料館と玩具館の入館料が改訂になりました。東御市市議会で決定されたものを受けたものです。大人250円、共通券380円、団体券190円、共通団体券250円です。なお、子供料金は据え置きです。これに伴い外看板も新しくしました。英語表記も入れました。